

## 『点検』

### 1 2 自己点検・自己評価

#### 基準 1 2 - 1

上記の諸評価基準項目に対して自ら点検・評価し、その結果を公表するとともに、教育・研究活動の改善等に活用していること。

【観点 1 2 - 1 - 1】自己点検及び評価を行うに当たって、その趣旨に則した適切な項目が設定されていること。

【観点 1 2 - 1 - 2】自己点検・評価を行う組織が設置されていること。

【観点 1 2 - 1 - 3】自己点検・評価を行う組織には、外部委員が含まれていることが望ましい。

#### [現状]

平成3年の大学設置基準の改正により、大学が自ら恒常的に現状を点検・評価し、改善・改革に努めることを求められるようになったのを機に、本学では平成5年『自己点検・評価委員会』が発足した。本委員会は、学長及び教授会構成員の中から学長が委嘱する若干名の委員をもって構成され、委員の任期は2年であり、委員長は学長が務めている。

この委員会の主導のもと、本学では定期的に大学院も含めた全学的な自己点検・評価が行われ、平成7年に最初の報告書が出された後、引き続き隔年で平成13年の報告書第4篇まで出された。その後第三者による客観的評価を受けることの必要性から大学基準協会への加盟が検討され、平成15年4月に加盟申請を行い、平成16年4月に加盟が認められた。以後自己点検・評価委員会は、大学基準協会による大学評価を視野に入れた全学的自己点検・評価をサポートする役目を担っている。平成18年には、加盟認定時に受けた勧告・助言についての改善状況をまとめた『神戸薬科大学自己点検・評価報告書—大学基準協会 加盟判定審査後の改善状況2006—』を発刊した。

その後、平成20年に同じく大学基準協会に加盟後初の大学評価並びに認定評価を申請し、幸いにも同協会より“大学基準に適合していると認定する。認定の期間は平成28年3月31日とする。”という評価結果を得ることができた。また、その結果を『神戸薬科大学自己点検・評価報告書—大学基準協会大学評価申請2008—』として刊行し、同時にホームページ上にも公開している。

このような経験を生かし、今回の『自己評価21』においても自己点検・評価委員会が主導して、薬学教育評価機構の『自己評価マニュアル』に基づき、すべての評価基準項目について、学内各部署、委員会の協力を得て、比較的スムーズに自己点検・評価の作業を行い、その結果を報告書にまとめることができた。【観点 1 2 - 1 - 1】 【観点 1 2 - 1 - 2】 【観点 1 2 - 1 -

3】

(資料：神戸薬科大学自己点検・評価報告書—大学基準協会大学評価申請2008—)

## [点検・評価]

### 優れた点

- ・比較的早い時期から自己点検・評価委員会を組織し、その委員会の主導で、定期的に自己点検・評価を行い、報告書を出してきた。
- ・大学基準協会への加盟認定後も中間報告も含め報告書を定期的に出していることは、自己点検・評価を恒常的に行うための制度・システムが確立され、機能していることを意味し、評価できる。
- ・大学基準協会の点検、評価項目に従った点検、評価を実施するようになり、その精度がそれ以前より格段に上がったことも評価できる。

### 改善を要する点

- ・自己点検・評価の結果を受けて、改善へと導くためのシステムはいまだ確立されていない。
- ・改善、改革を促進するためにその進捗状況を常時チェックする必要があるが、まだ十分に行われていない。
- ・本学の自己点検・評価委員会には外部委員は含まれていない。

## [改善計画]

自己点検・評価を単なる報告書作成作業に終わらせるのではなく、教育・研究の真の改善・改革に結びつけるために自己点検・評価委員会の権限を強化することを早急に検討する。

自己点検・評価委員会の外部委員の問題については、今後の検討課題とする。